

グラフで見る関西経済 (2019年7月)

2019年7月25日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～関西経済は横ばい圏で推移している

項目	現状	前月
1. 景気全般	横ばい圏で推移している	—
2. 生産	横ばい圏で推移している	弱含んでいる
3. 輸出	弱含んでいる	—
4. 輸入	横ばい圏で推移している	—
5. 設備投資	増加している	—
6. 雇用	改善が一服している	—
7. 賃金	横ばい圏で推移している	—
8. 個人消費	持ち直しの動きがみられる	—
9. 住宅投資	横ばい圏で推移している	—
10. 公共投資	前年比で増加	—

【今月のポイント】

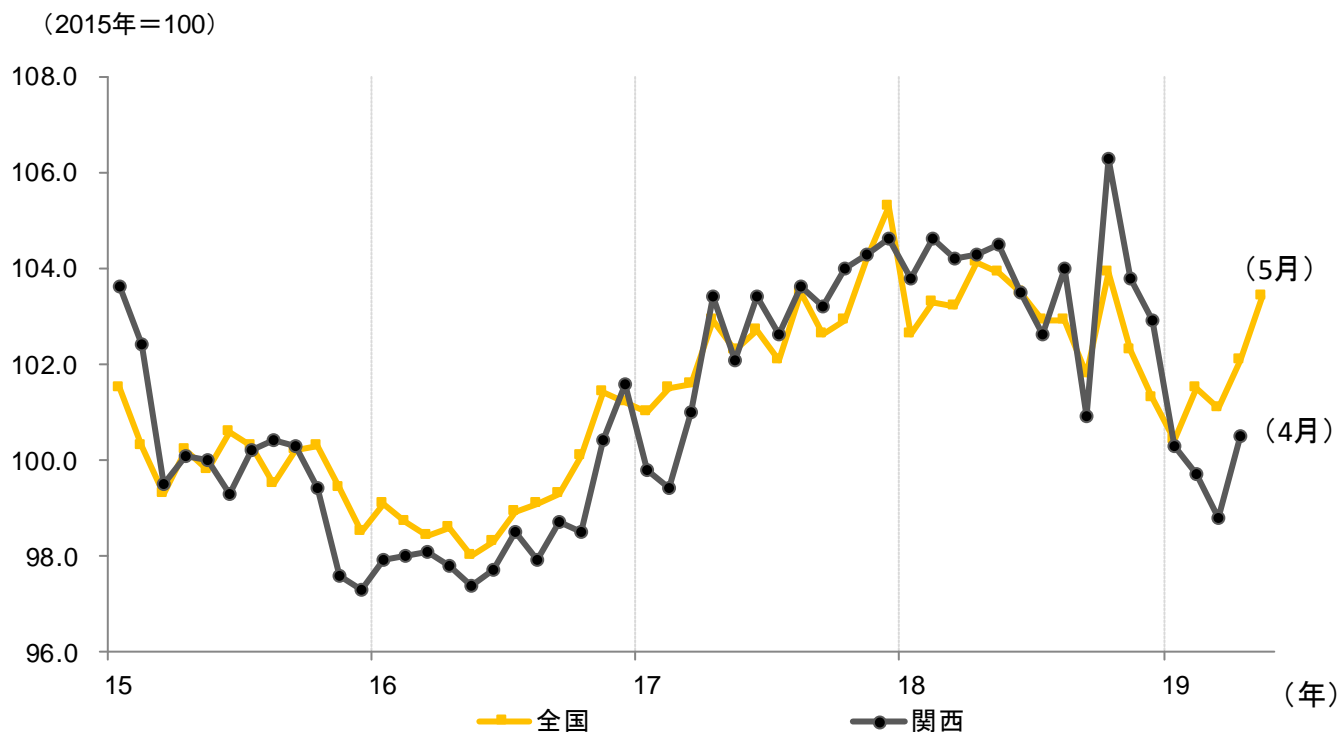
- 5月の関西の生産は、汎用・業務用機械、生産用機械などが増加し、全体でも2ヶ月連続で増加したが、総じて横ばいで推移している。
- 関西の家計部門は、雇用、所得、消費など総じて持ち直しの動きが見られる。

(注) シャド一部分は前月と比較して見方を変更した項目
前月のコメントが現状と同じ場合は—と表記

1. 景気全般 ~横ばい圏で推移している(先行き:横ばい)

- 4月の関西の景気動向指数・CI一致指数は、鉱工業生産指数、耐久消費財出荷指数、生産財出荷指数、有効求人倍率などがプラス寄与となり、前月差+1.7ポイントの100.5と6ヶ月ぶりに上昇した。

景気動向指数(CI一致指数)

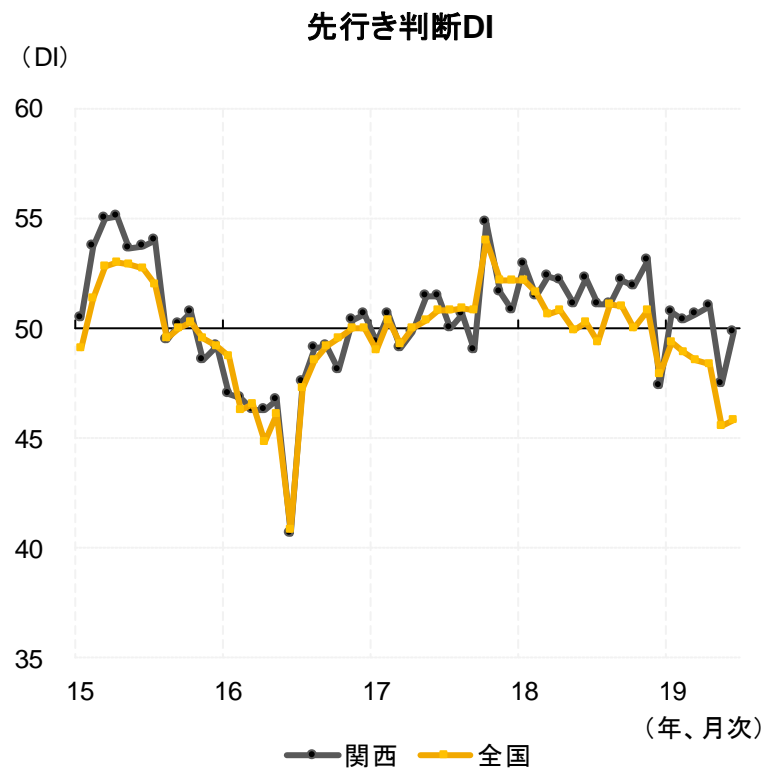
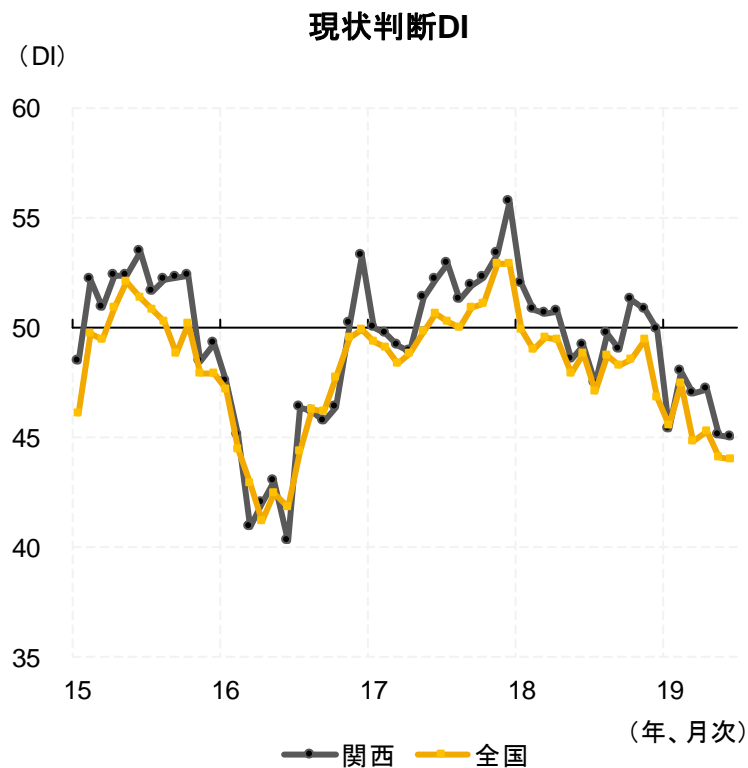


(出所) 内閣府「景気動向指数」、大阪府「近畿地区景気動向指数の動き」

(注) 近畿景気動向指数の採用系列は、鉱工業生産、耐久消費財出荷、生産財出荷、有効求人倍率、百貨店販売額、輸入通関額、所定外労働時間(製造業)の7系列

1. 景気全般

- 景気ウォッチャー調査によると、6月の関西の**現状判断DI**(季節調整値)は、前月差-0.1ポイントの45.0と低下し、中立を表す50を7ヶ月連続で下回った。**先行き判断DI**(季節調整値)は、同+2.3ポイントの49.8と上昇したが、2ヶ月連続で50を下回った。節約志向の高まりや海外情勢の不確実性などが懸念されている。

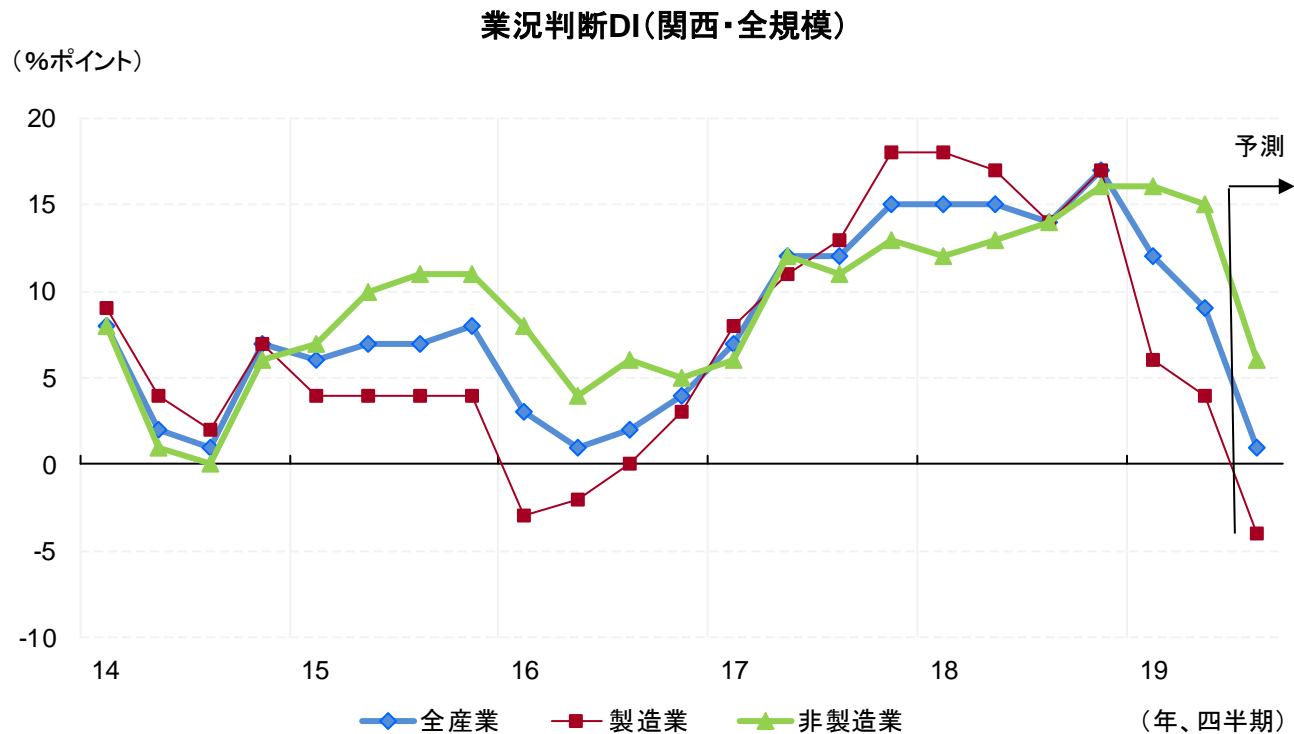


(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

(注) DIは季節調整値

1. 景気全般

- 関西企業の景況感について日銀短観6月調査を見ると、業況判断DIは全産業(全規模)で+9と前回3月調査より3ポイント悪化した。製造業(全規模)は+4と3月調査より2ポイント悪化、電気機械、はん用・生産用・業務用機械等が悪化した。非製造業(全規模)は+15と前回より1ポイント悪化した。先行きについては、全産業、製造業、非製造業ともに悪化が見込まれている。



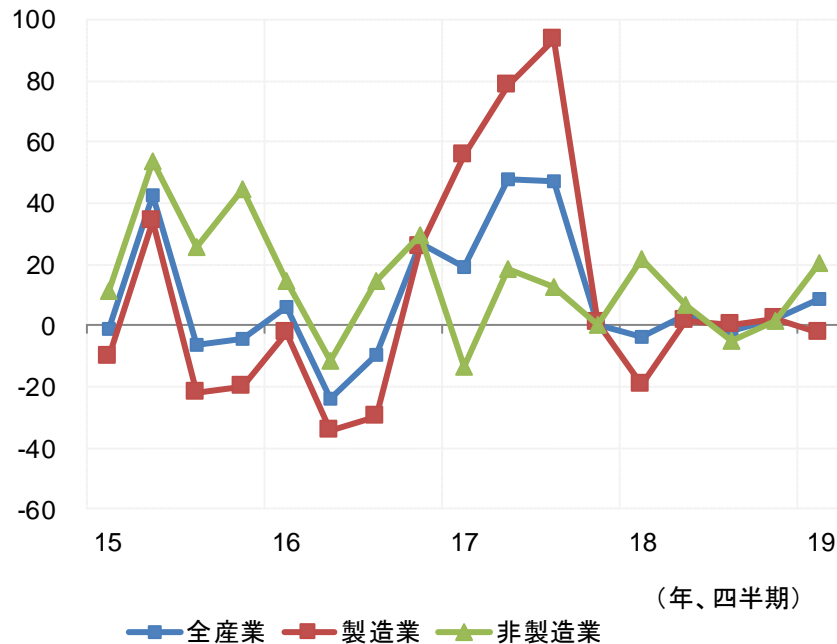
(出所) 日本銀行大阪支店「企業短期経済観測調査(近畿地区)」

1. 景気全般

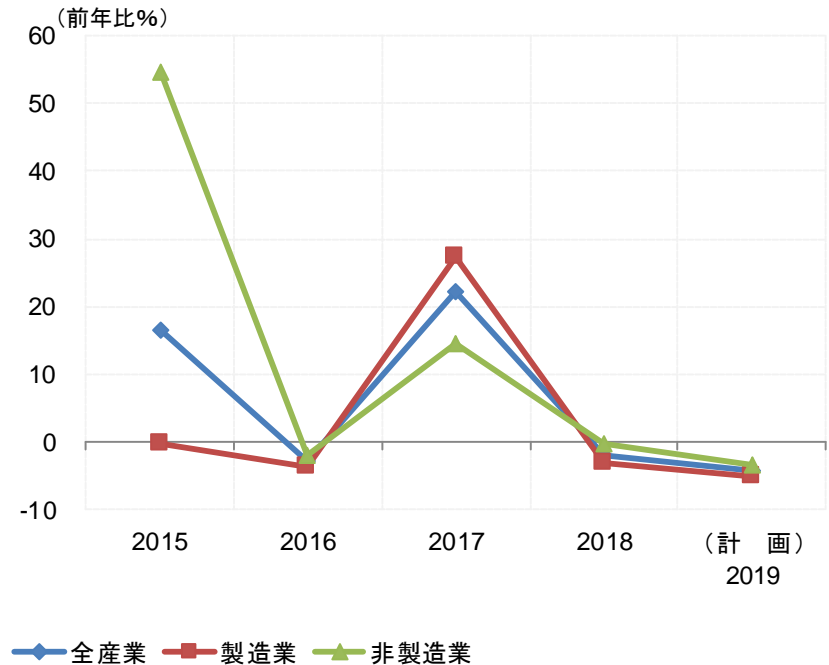
- 関西企業の収益動向について**法人企業統計**を見ると、2019年1～3月期の大企業の**経常利益**(全産業)は、前年比+8.7%と2四半期連続で増加した。製造業が同-2.1%と4四半期ぶりに減少したが、非製造業は同+20.4%と2四半期連続で増加した。
- **日銀短観6月調査**では、18年度は全産業で同-2.1%、製造業で同-3.2%、非製造業で同-0.3%となった。19年度は全産業で同-4.4%、製造業で同-5.0%、非製造業で同-3.4%と計画されている。

関西の大企業の経常利益(法人企業統計)

(法人企業統計はコメント、グラフ共に前号から変更なし)



関西企業の経常利益(日銀短観)



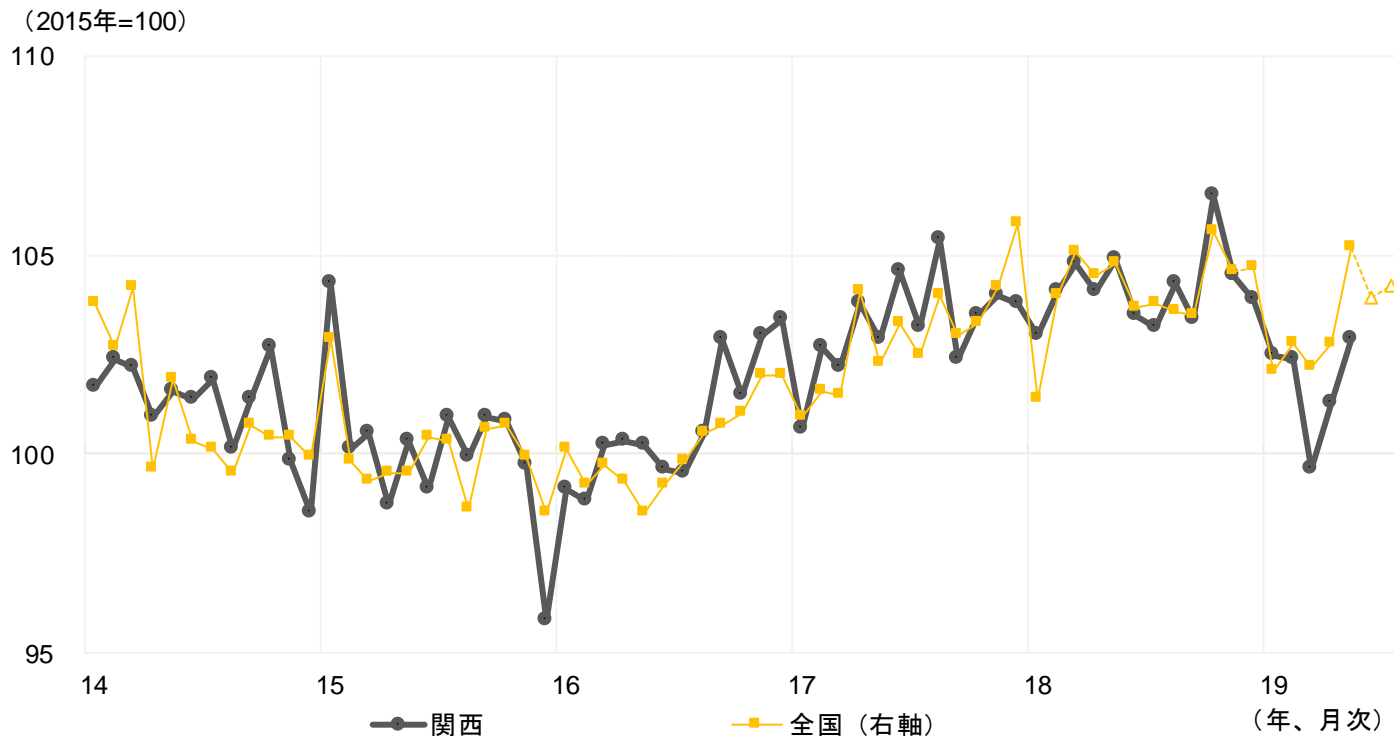
(出所) 近畿財務局「法人企業統計調査」
(注) 資本金10億円以上の法人(除く金融・保険)

(出所) 日本銀行大阪支店「短観」

2. 生産～横ばい圏で推移している(先行き:横ばい)

- 5月の関西の鋳工業生産は、前月比+1.6%と2ヶ月連続で増加した。電子部品・デバイス、化学(除医薬品)、窯業・土石製品などが減少したが、汎用・業務用機械、生産用機械、輸送機械などが増加した。近畿地区の生産は、総じて見ると、横ばい圏で推移している。

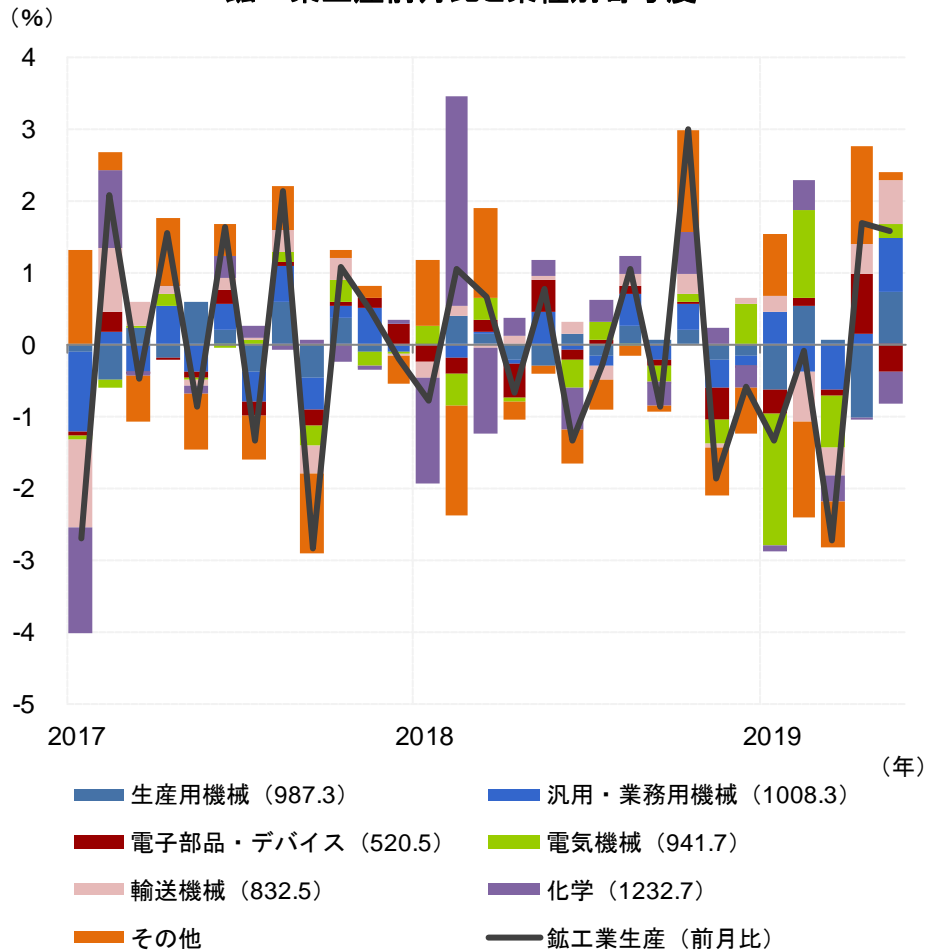
鋳工業生産指数(季節調整値)



(出所) 近畿経済産業局「鋳工業生産動向」、経済産業省「鋳工業指数」
(注) 生産(全国)の「△」は製造工業生産予測調査結果に基づく予測

2. 生産

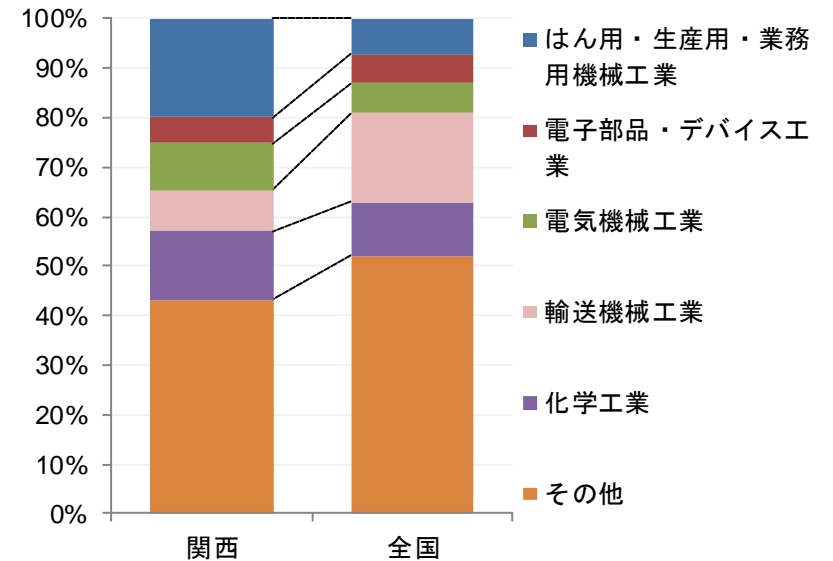
鉦工業生産前月比と業種別寄与度



(出所) 近畿経済産業局「鉦工業生産動向」

(注) 凡例の括弧内の数字は付加価値ウエイト(鉦工業=10,000)

[参考]生産ウエイト(2015年基準)

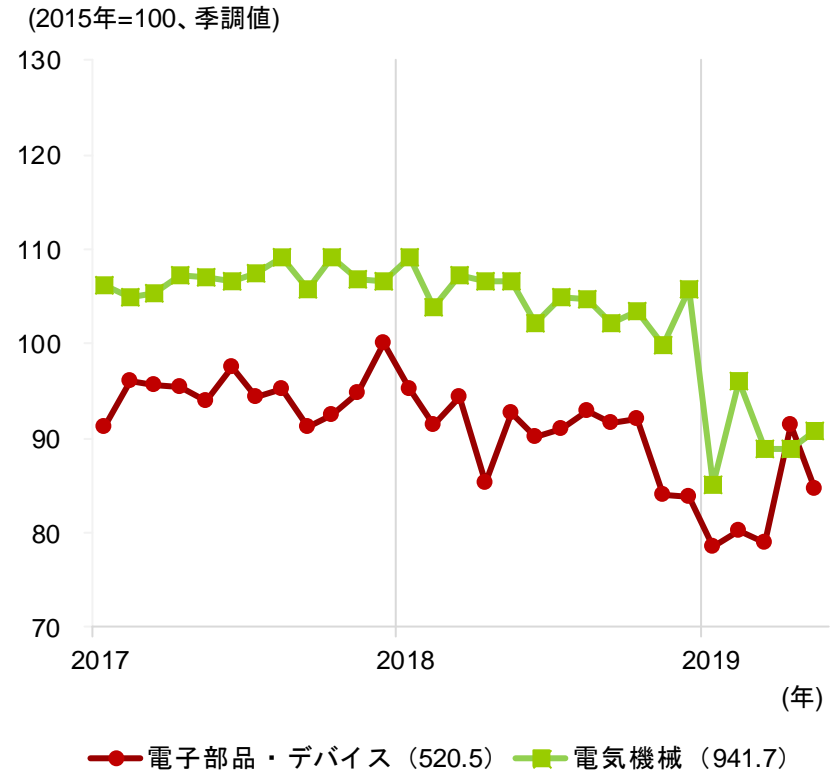
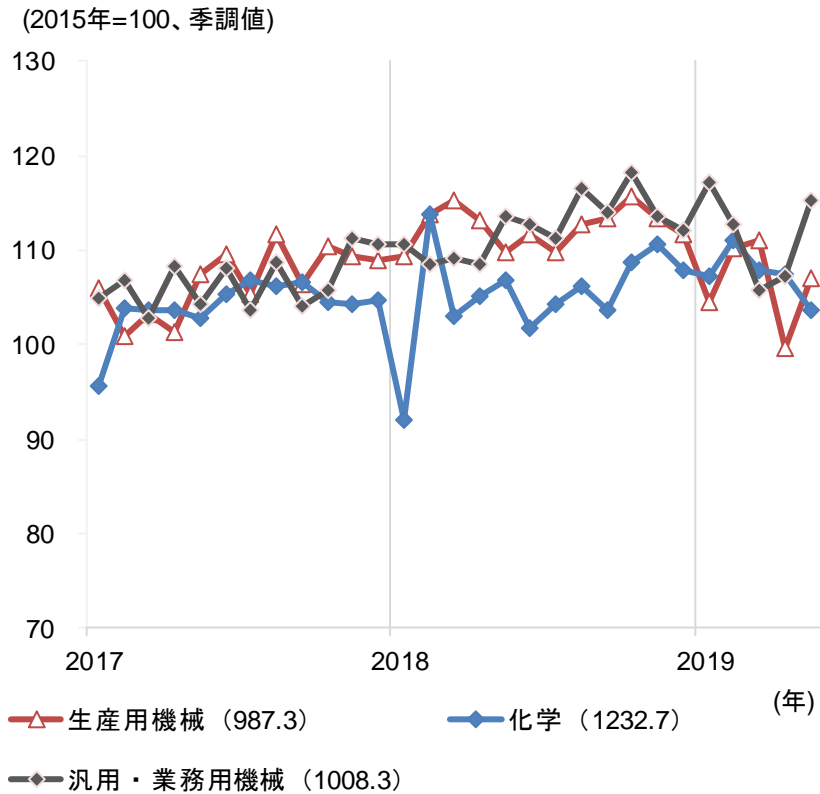


※ 関西は、全国に比べ輸送機械のウエイトが低く、はん用・生産用・業務用機械、化学、電機のウエイトが高い

(出所) 近畿経済産業局「鉦工業生産動向」

2. 生産

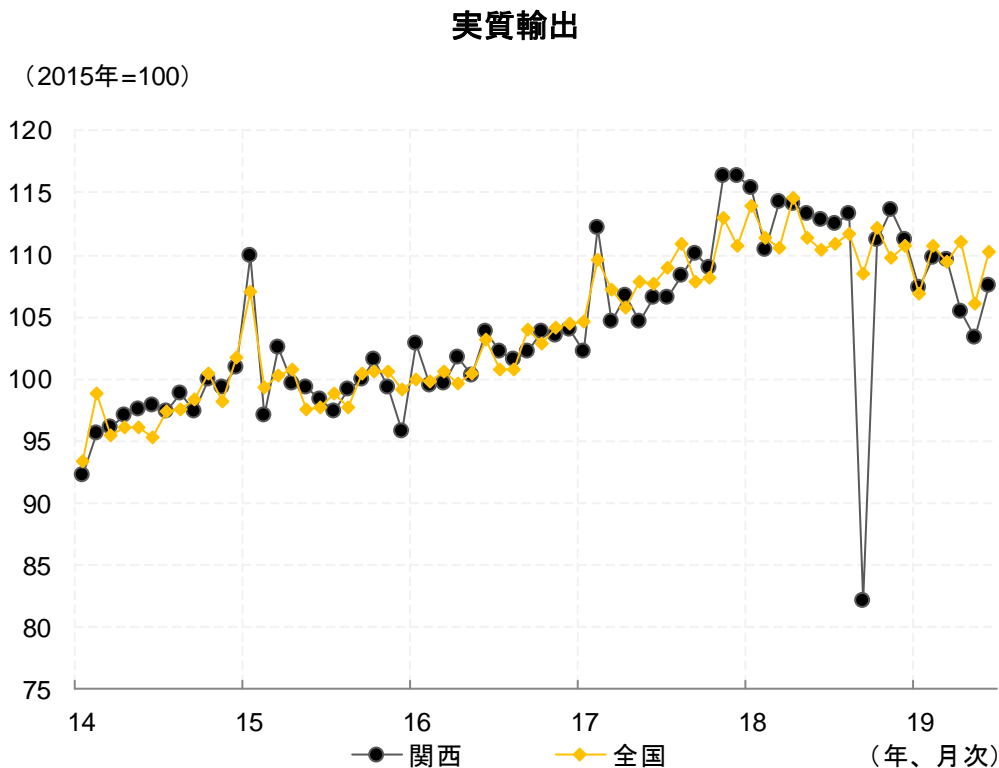
業種別生産



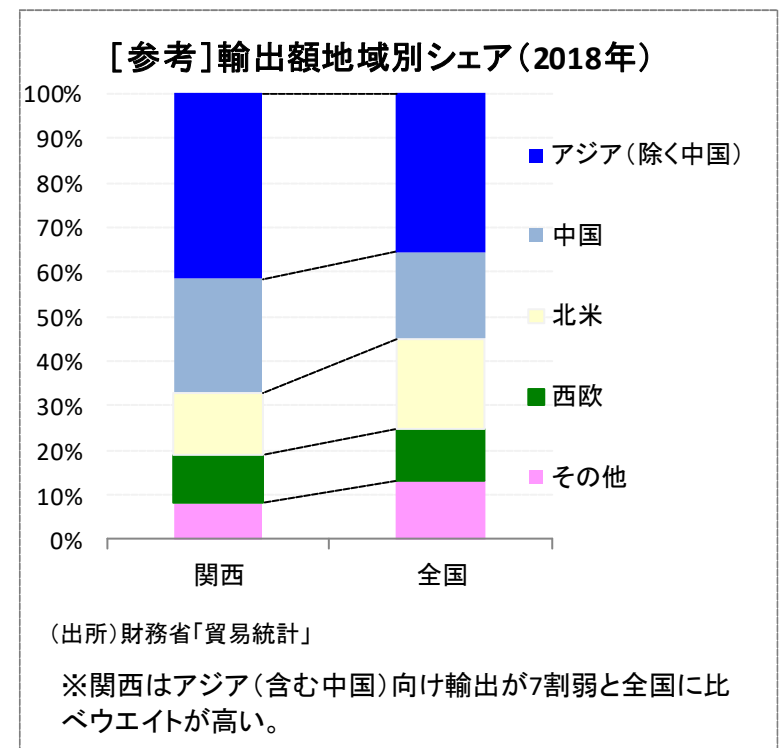
(出所)近畿経済産業局「鉱工業生産動向」

3. 輸出 ～弱含んでいる(先行き:横ばい)

- 6月の関西の**実質輸出**(季節調整値)は前月比+3.9%と4ヶ月ぶりに増加したが、均してみるとトレンドは弱含んでいる。



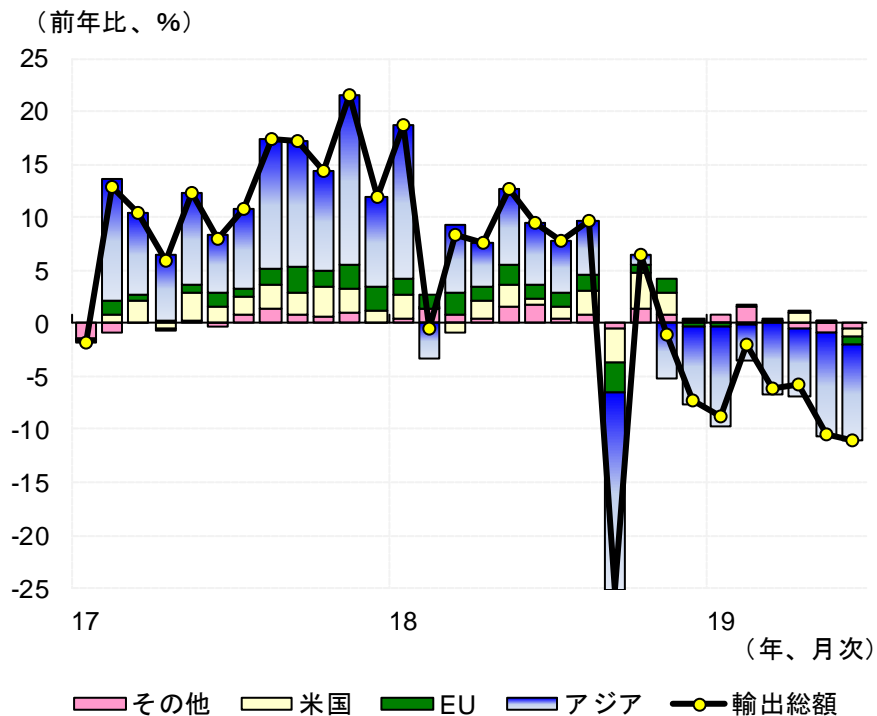
(出所) 日本銀行大阪支店「実質輸出入」



3. 輸出

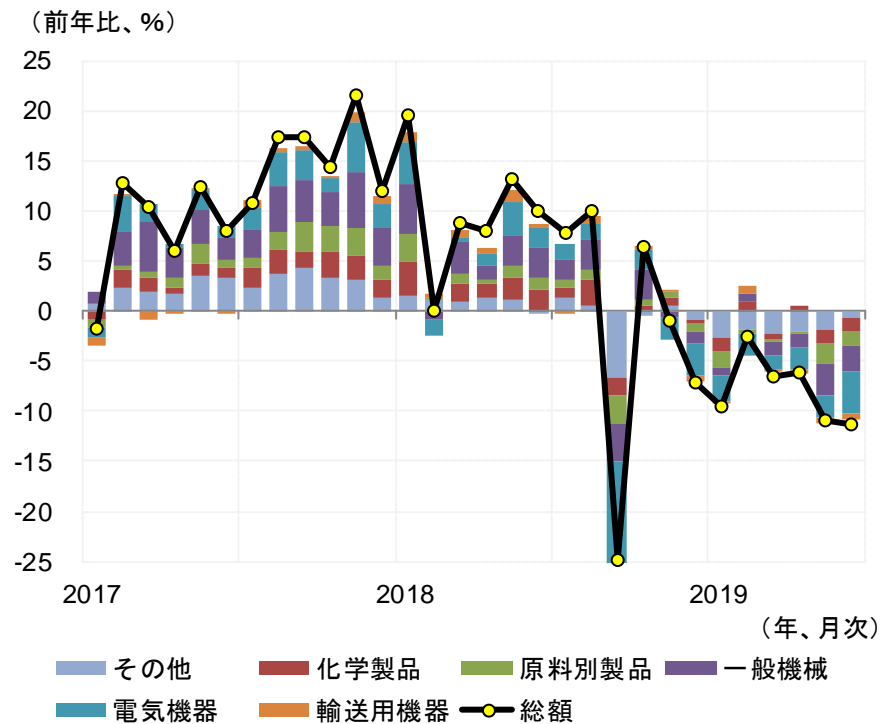
- 6月の名目輸出額(原数値)は、前年比-11.0%と8ヶ月連続で減少した。地域別では、米国、アジア(含む中国)はいずれも減少した。品目別にみると半導体等電子部品(同-17.1%)、原動機(同-34.6%)などが減少した。

名目輸出(地域別寄与度)



(出所) 大阪税関「近畿圏貿易概況」

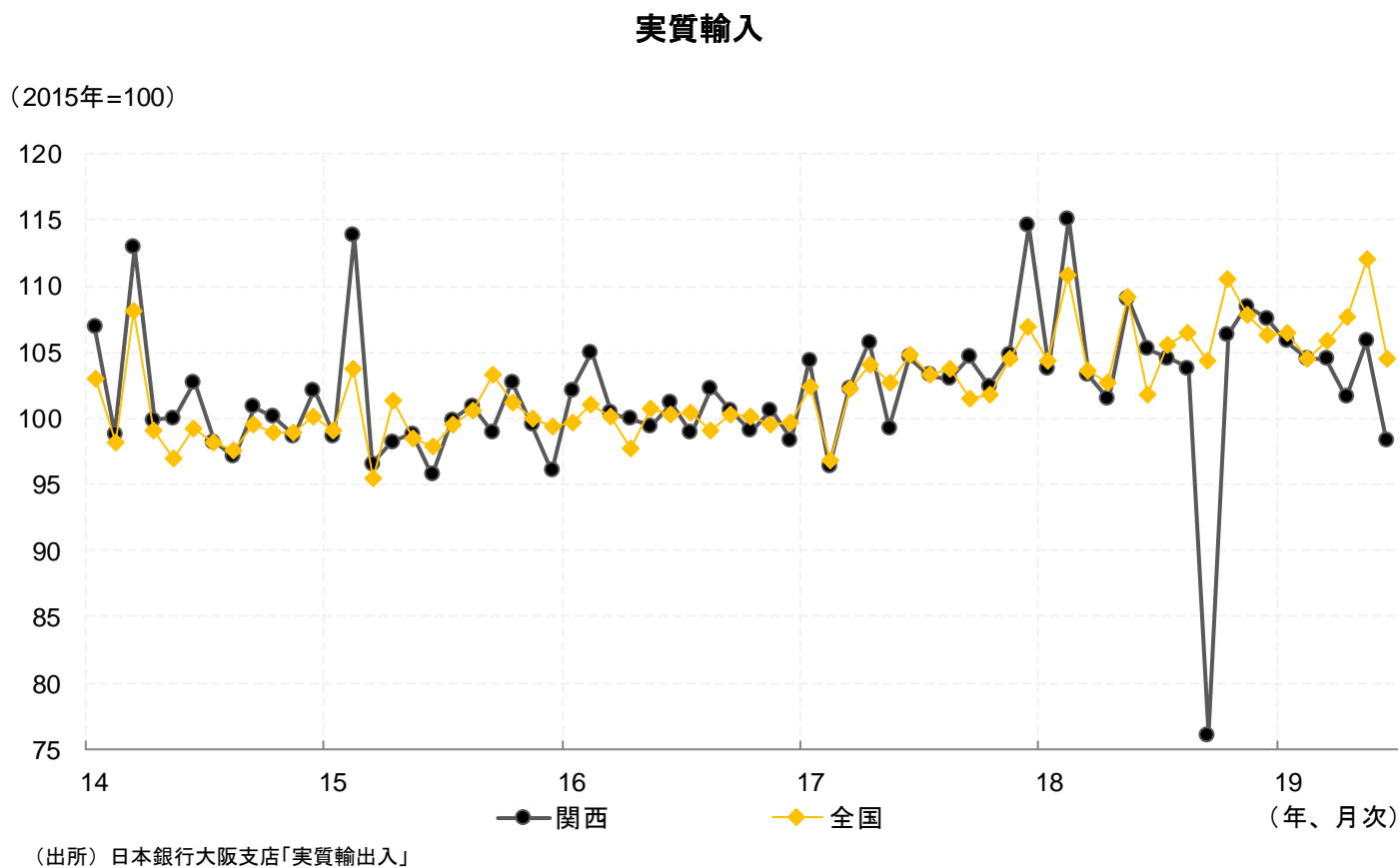
名目輸出(品目別寄与度)



(出所) 大阪税関「近畿圏貿易概況」

4. 輸入 ～横ばい圏で推移している(先行き:横ばい)

- 6月の関西の実質輸入は前月比-7.0%と2ヶ月ぶりに減少した。均して見ると横ばいとなっている。



5. 設備投資 ～増加している(先行き:増加)

(コメント、グラフ共に前号から変更なし)

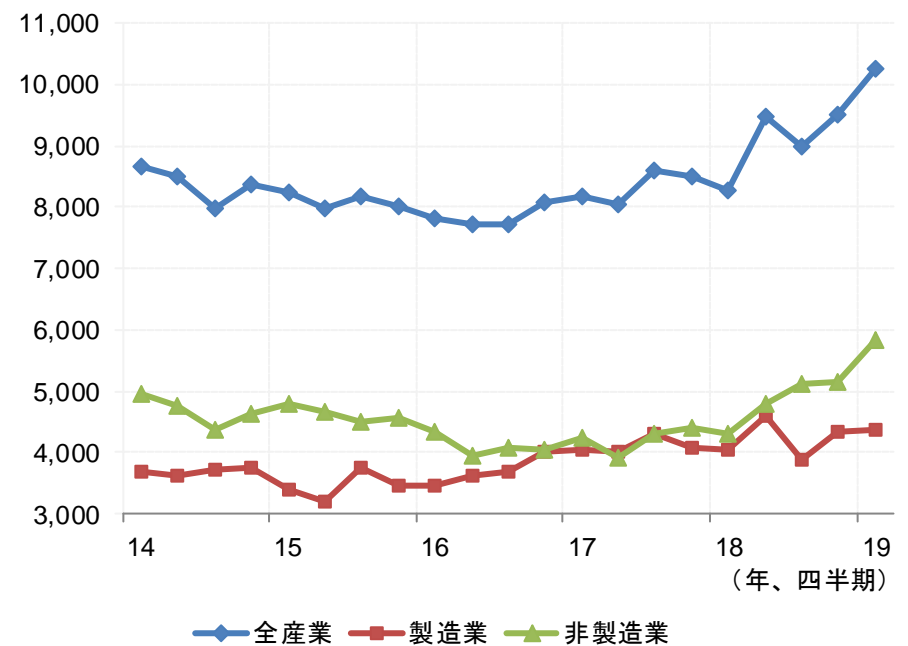
- **法人企業統計**によると2019年1～3月期の関西の大企業の**設備投資**(ソフトウェアを含む)は前年同期比+23.8%と10四半期連続で増加した。非製造業で高めの伸びが続いている。季節調整値(MURC試算)の動きを見ても、増加基調で推移している。

設備投資の前年比伸び率(全産業、%)

	関西	全国
18年 1-3月	0.9	3.4
4-6月	18.2	12.8
7-9月	4.3	4.5
10-12月	11.7	5.7
19年 1-3月	23.8	6.1

(注) 関西は資本金10億円以上の大企業の単純合計値の伸び率
(出所) 財務省「法人企業統計調査」

関西の設備投資(ソフトウェアを含む、季節調整値)

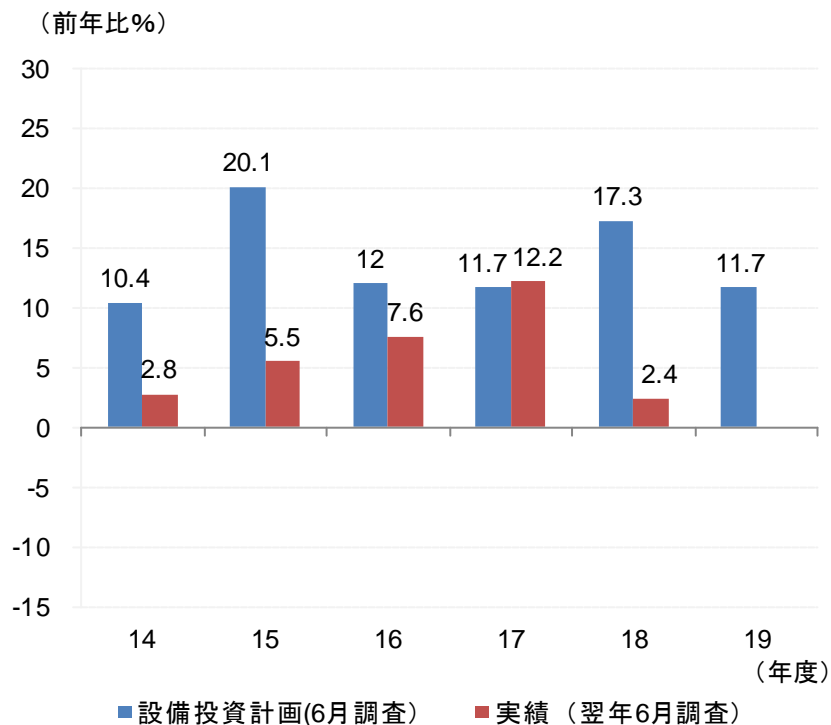


(注) 季調はMURC
(出所) 財務省「法人企業統計調査」

5. 設備投資

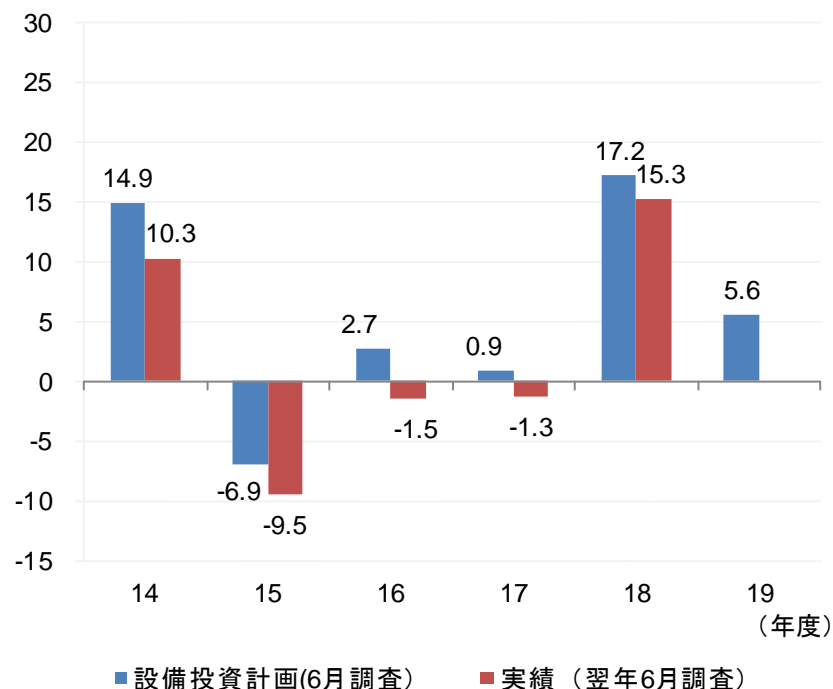
- **日銀短観6月調査**によると、関西の18年度の**設備投資**は、全産業で前年比+9.5%（3月調査同+21.8%）と増加した。業種別の内訳を見ると、製造業は同+2.4%（同+16.7%）、非製造業は同+15.3%（同+25.9%）とともに増加した。19年度については、全産業で同+8.2%、製造業で同+11.7%、非製造業で同+5.6%と計画されている。

設備投資計画と実績（製造業）



（出所）日本銀行大阪支店「短観」
（注）設備投資は含む土地投資額

設備投資計画と実績（非製造業）



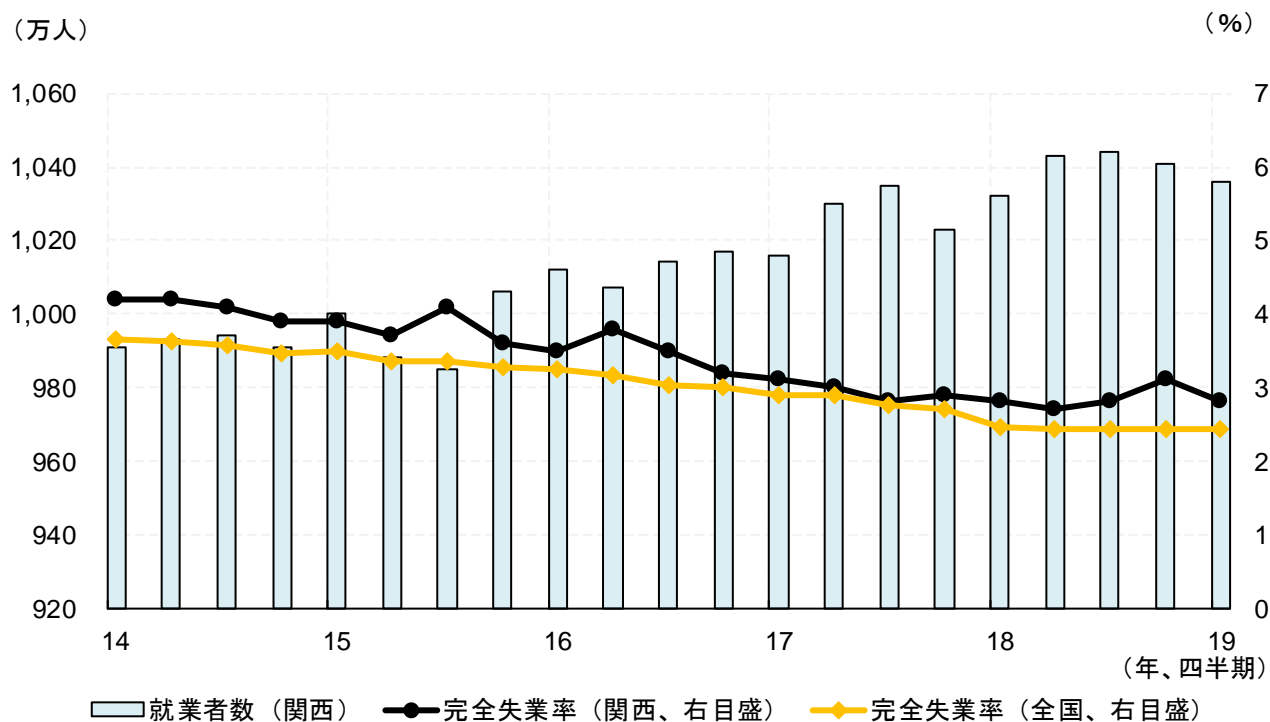
（出所）日本銀行大阪支店「短観」
（注）設備投資は含む土地投資額

6. 雇用 ～改善が一服している（先行き：横ばい）

（コメント、グラフ共に前号から変更なし）

- 1-3月期の関西の**完全失業率**（季節調整値）は前期差－0.3%ポイントの2.8%となった。**就業者数**（季節調整値）は同5万人減少と、増加に底打ち感がみられる。

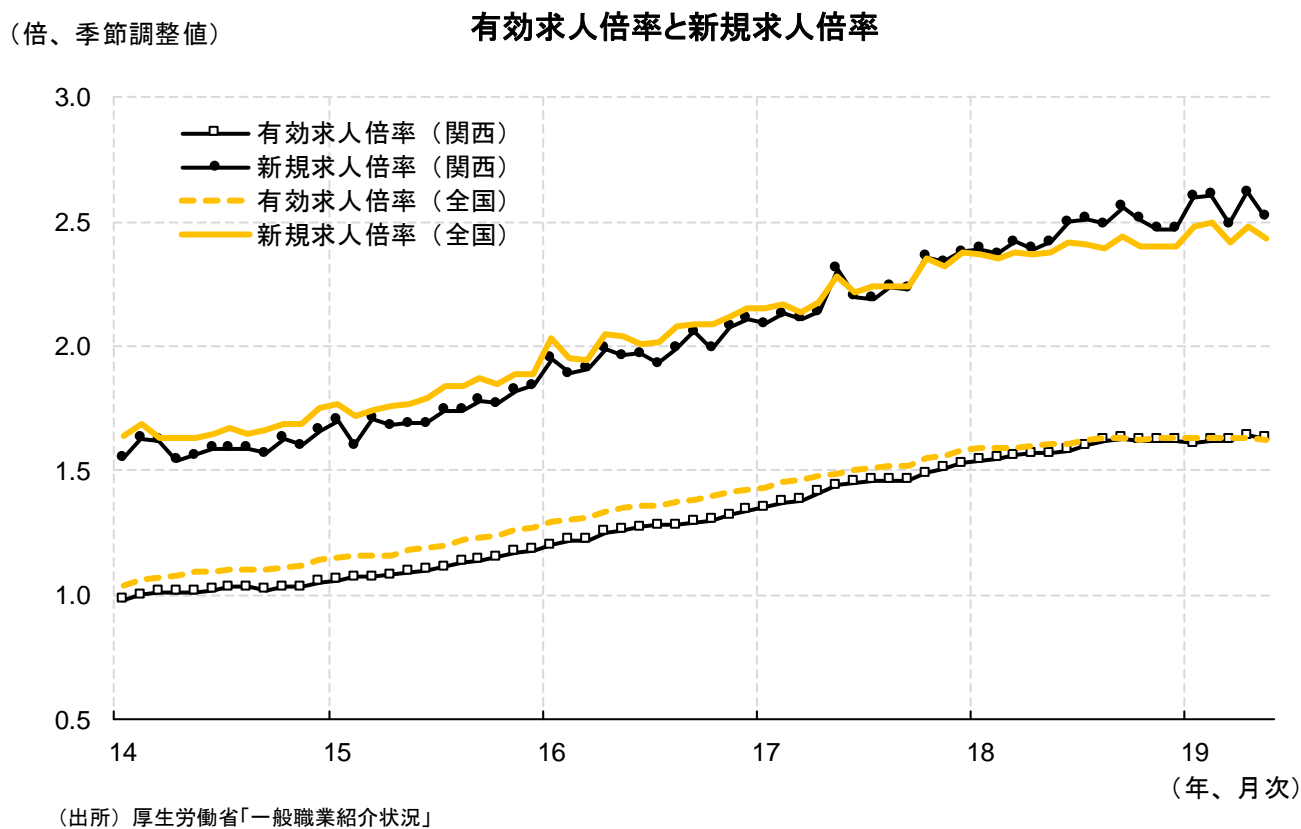
失業率と就業者数（季節調整値）



（出所）総務省「労働力調査」

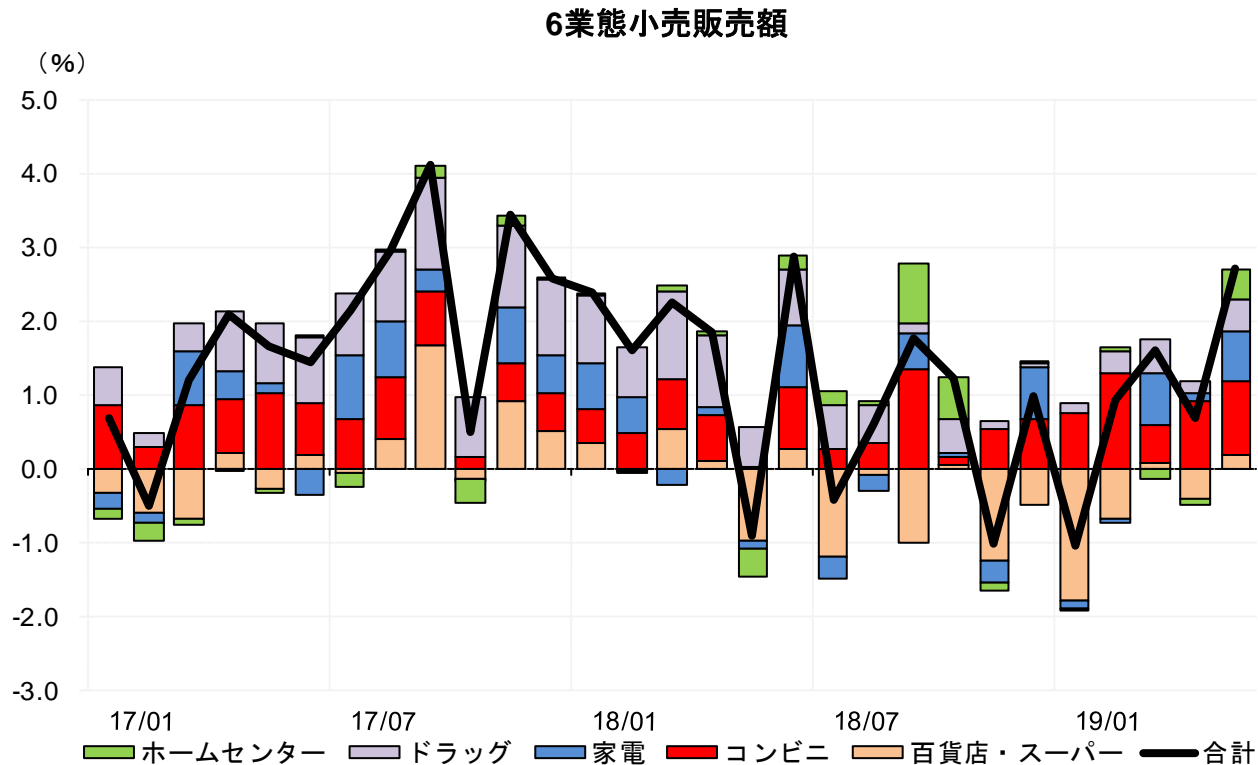
6. 雇用

- 5月の関西の**有効求人倍率**は1.63倍と小幅低下した。**有効求人数**は前月比+0.8%と増加し、有効求職者数も同+1.2%と増加した。**有効求人倍率**に先行する**新規求人倍率**は2.52倍と2ヶ月ぶりに低下した。新規求人数は前月比+2.1%、新規求職申込件数は同+6.3%と増加した。



8. 個人消費～持ち直しの動きがみられる(先行き:緩やかに持ち直し)

- 5月の商業動態統計調査6業態の販売額の合計は、6業態全てがプラスに寄与し、前年比+2.7%と4ヶ月連続で増加した。月毎の変動はあるが、総じて前年比プラスで推移している。



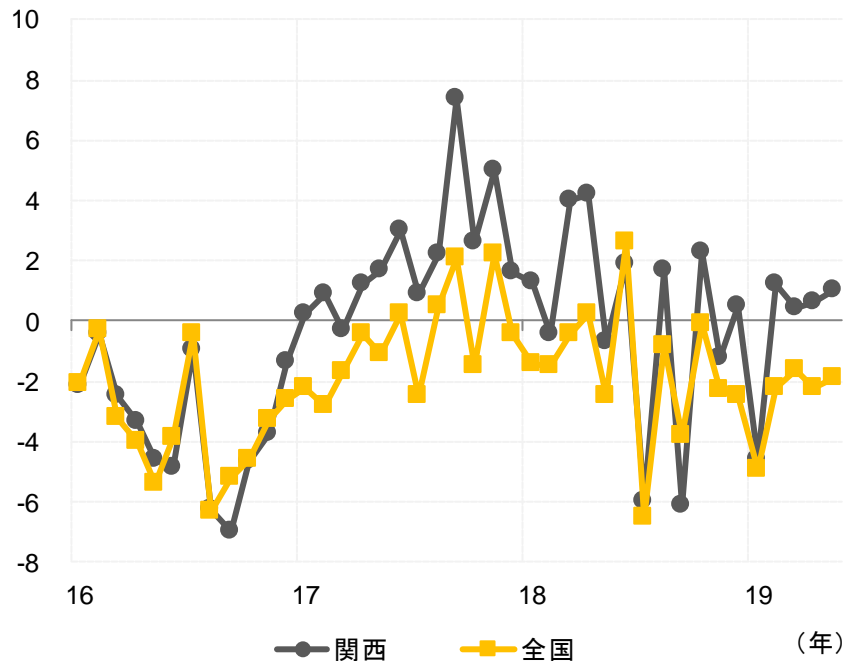
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

8. 個人消費

- 5月の関西の百貨店販売額(全店)は、インバウンド消費の好調もあって前年比+1.0%と4ヶ月連続で増加した。また、スーパー販売額(全店)は、同+0.0%と横ばいとなった。飲食料品、その他の衣料品等がプラスに寄与した。

百貨店販売額(全店)

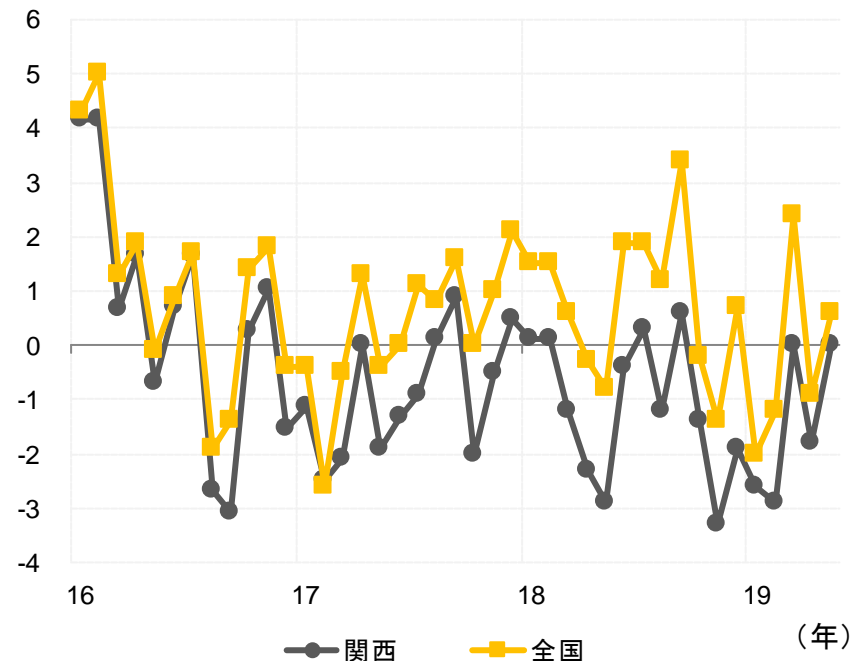
(前年比%)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

スーパー販売額(全店)

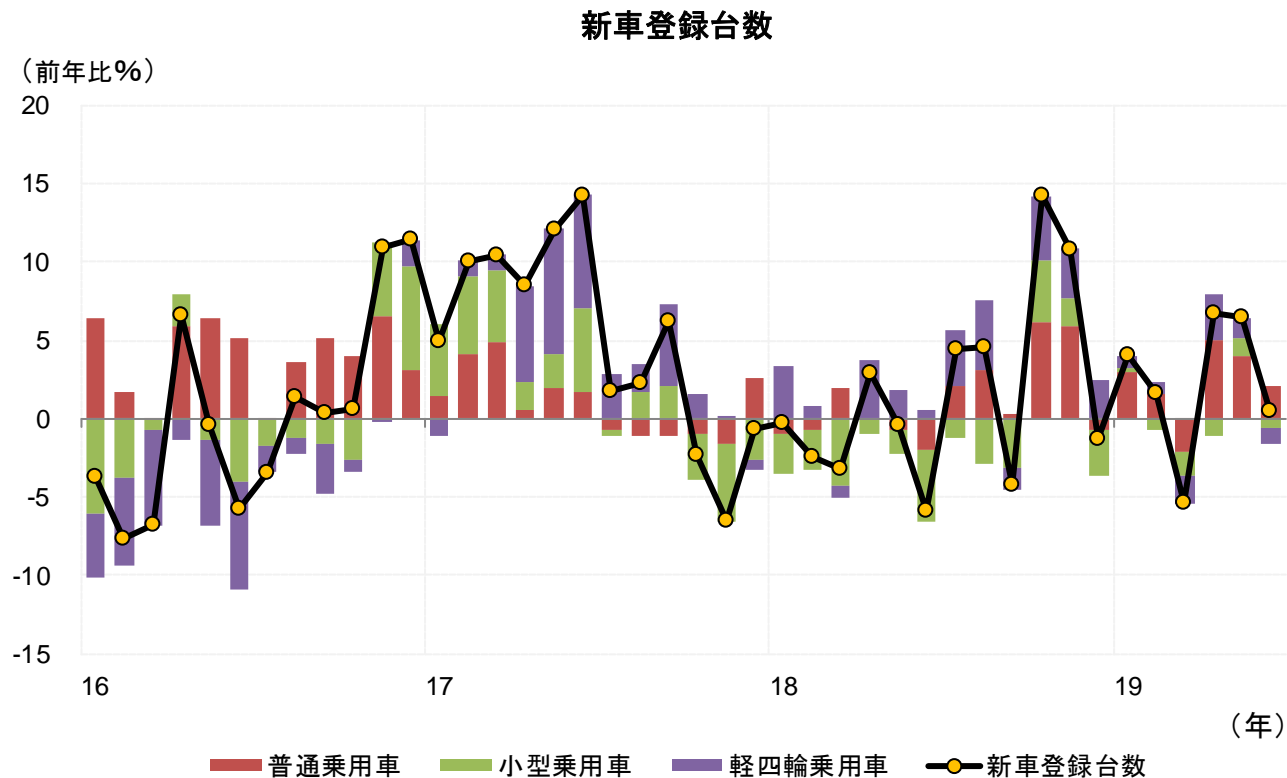
(前年比%)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

8. 個人消費

- 6月の関西の**新車登録台数(乗用車、含む軽)**は前年比+0.5%と3ヶ月連続で増加した。小型車(同-2.0%)は2ヶ月ぶりに、軽自動車(同-3.0%)は3ヶ月ぶりに減少したが、普通車(同+5.3%)は3ヶ月連続増加した。



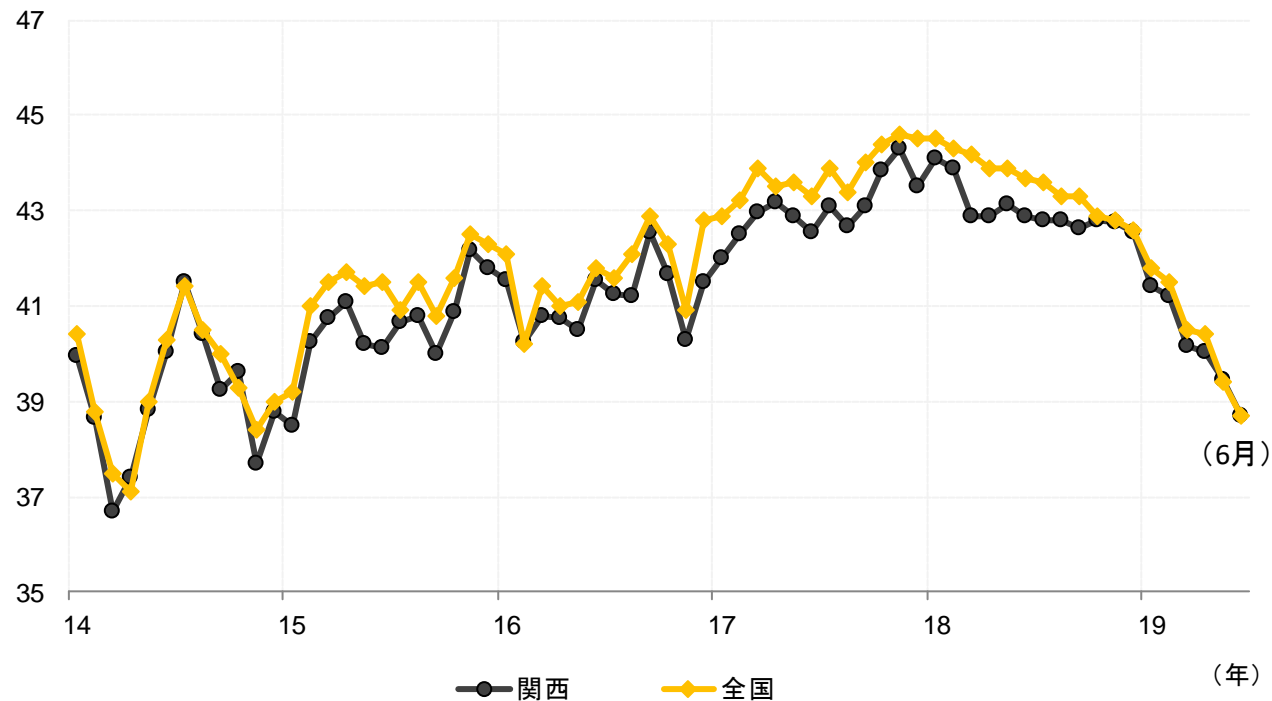
(出所) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

(注) 乗用車新規登録・届出台数は2府4県分、含む軽

8. 個人消費

- 消費者マインドを表す消費者態度指数(季節調整値:MURC試算値)は、18年は横ばいで推移した後、19年に入り低下が続いている。

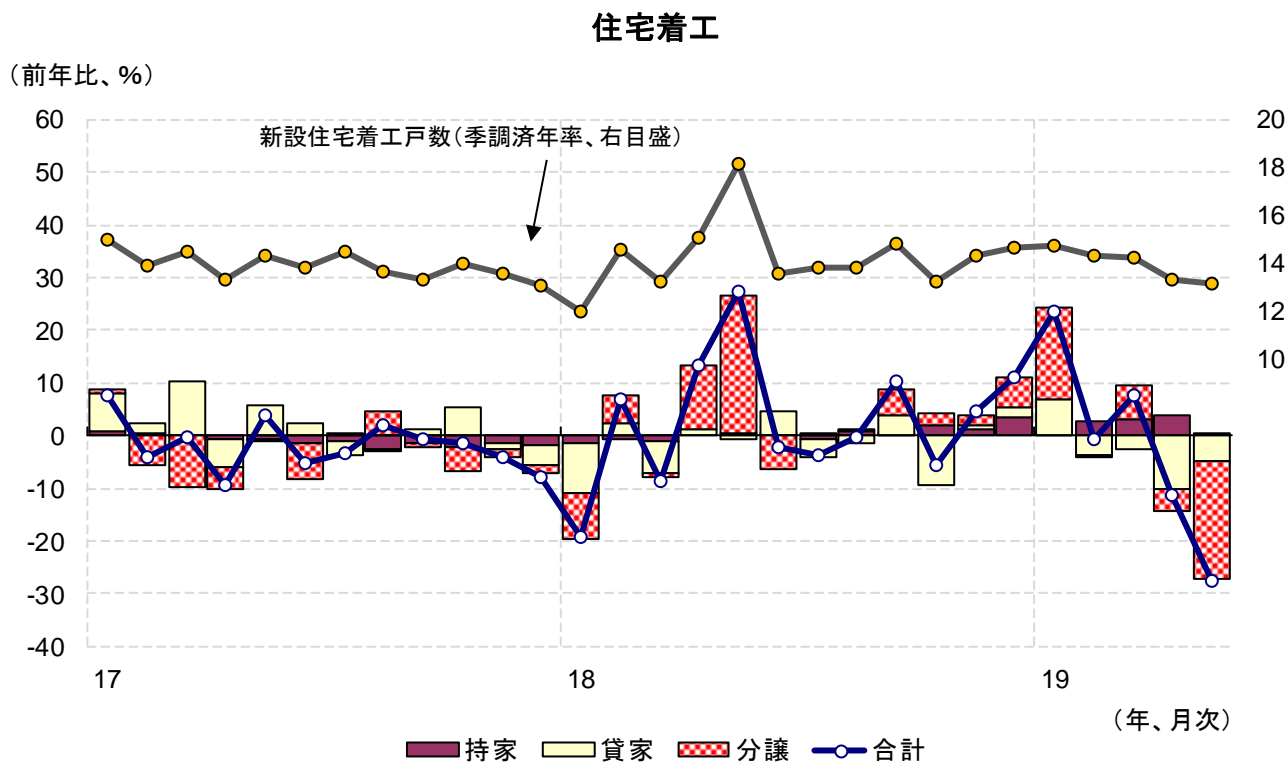
消費者態度指数(二人以上の世帯、季節調整値)



(出所) 内閣府「消費動向調査」
(注) 関西の季節調整値はMURCの試算値

9. 住宅投資 ～横ばい圏で推移している(先行き:横ばい)

- 5月の関西の住宅着工戸数は、季調済年率(MURC試算)で前月比-1.5%の13.1万戸と4ヶ月連続で減少したが、均してみると横ばい圏で推移している。また、原数値の前年比では-27.5%と大きく減少したが、分譲での前年反動とみられる。

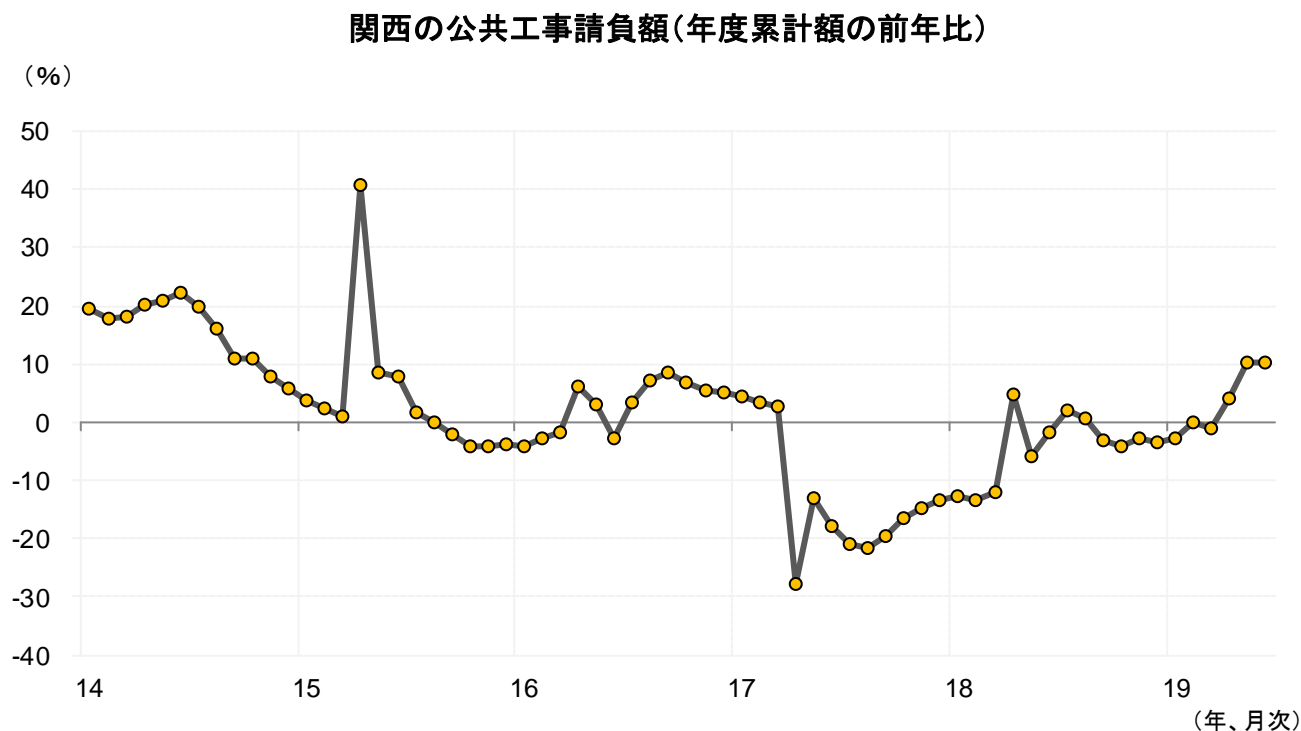


(出所) 国土交通省「建築着工統計」

(注) 新設住宅着工戸数の季節調整は当社にて実施

10. 公共投資 ～前年比で増加（先行き:横ばい）

- 6月の関西の公共工事請負額(年度累計額)は、前年比+10.1%と増加した。国、独立行政法人、市区町村、その他が増加となっている。



(出所) 北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)

11. インバウンド

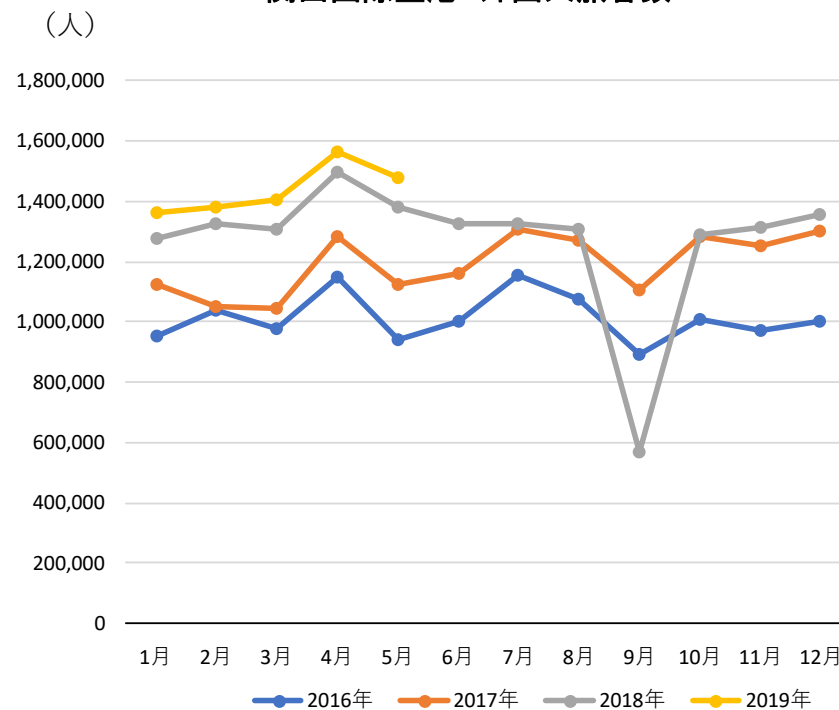
- 6月の百貨店免税売上(大阪、京都、神戸の主要店)は、前年比+6.7%の109億円と5ヶ月連続で増加した。1月に落ち込んだインバウンド消費であったが、2月以降は盛り返している。
- 5月に関西国際空港を利用した外国人旅客数は、前年比+7.1%の148万人であった。昨年9月に大幅減となった後、前年水準を上回っているが、増加幅は以前に比べると小幅となっている。

百貨店免税売上(大阪、京都、神戸)



(出所) 日本銀行大阪支店「百貨店免税売上(関西地域)」

関西国際空港 外国人旅客数



(出所) 関西エアポート株式会社

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください